

## のびっこ1学級担任 山内 育代 教諭 の紹介

## 「聴く力」の大切さ～安心して話せる環境へ

子どもたちが安心して自分の思いを語るができる環境は、学校教育において極めて重要な基盤です。山内育代教諭は、その土台づくりに真摯に向き合う姿勢と日常の中にある大切な気づきを教育へと生かしています。

山内教諭は、「何気ないやり取りの中にこそ関係性の本質が表れる」という理念をもっています。相手の目を見て話を聞くこと、最後まで言葉を受け止めること、適切な相槌を打つこと・・・そうした一つ一つの関わりが、子どもの安心感や自己表現の在り方に大きく影響するという理念は、まさに教育の核心に迫るものです。

特に優れている点は、この理念を学校現場にしっかりと還元していることです。子どもは「自分の話を受け止めてもらいたい」という強い願いをもっています。その思いに応え、丁寧に耳を傾けることで、子どもは「自分は大切にされている」と感じるようになります。そしてその積み重ねが、「自分の気持ちを言葉にしてよい」という自己肯定感や、他者への信頼感へとつながっていきます。



山内教諭の実践には、単なる「聞く」ではなく、「相手を理解しようとする姿勢としての聴く力」が息づいています。教師が落ち着いて向き合い、子どもの言葉を遮ることなく受け止める姿は、何よりも子どもに安心を与えます。その安心感こそが、学びや人間関係の土台となり、学級全体の温かな雰囲気を生み出していく原動力になるのです。

また、「安心して話せる環境をどうつくるか」という問いを常にもち続けている点も、山内教諭の大きな強みです。環境は自然に生まれるものではなく、教師の意識的な関わりによって育まれるものです。山内教諭の教育実践は、子どもたち一人一人の内面に寄り添い、その成長を支える確かな土台を築くものと思っています。